

総合戦略(2027年度までの5か年計画)の基本的考え方

- 「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
- デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、各地域の優良事例の横展開を加速化する。
- これまでの地方創生の取組についても、改善を加えながら推進する。

施策の方向

地方の社会課題解決

- ① 地方に仕事をつくる
 - ・ 中小・中堅企業DX、地域の良質な雇用の創出等、スマート農業、観光DX 等
- ② 人の流れをつくる
 - ・ 移住の推進、関係人口の創出・拡大、地方大学・高校の魅力向上 等
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ・ 結婚・出産・子育ての支援、少子化対策の推進 等
- ④ 魅力的な地域をつくる
 - ・ 地域生活圏、教育DX、医療・介護DX、地域交通・物流・インフラDX、防災DX 等

国によるデジタル実装の基礎条件整備

- ① デジタル基盤の整備
 - ・ デジタルインフラの整備、デジタルライフライン全国総合整備計画、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大 等
- ② デジタル人材の育成・確保
 - ・ デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成 等
- ③ 誰一人取り残されないための取組
 - ・ デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現 等

政策間連携・施策間連携・地域間連携の推進

(政策間連携)

- ・ デジタル行財政改革会議における議論の進展や、「デジタル行財政改革中間とりまとめ」なども踏まえつつ、規制改革を始めとする政策と連携しながら、一体的に推進 等

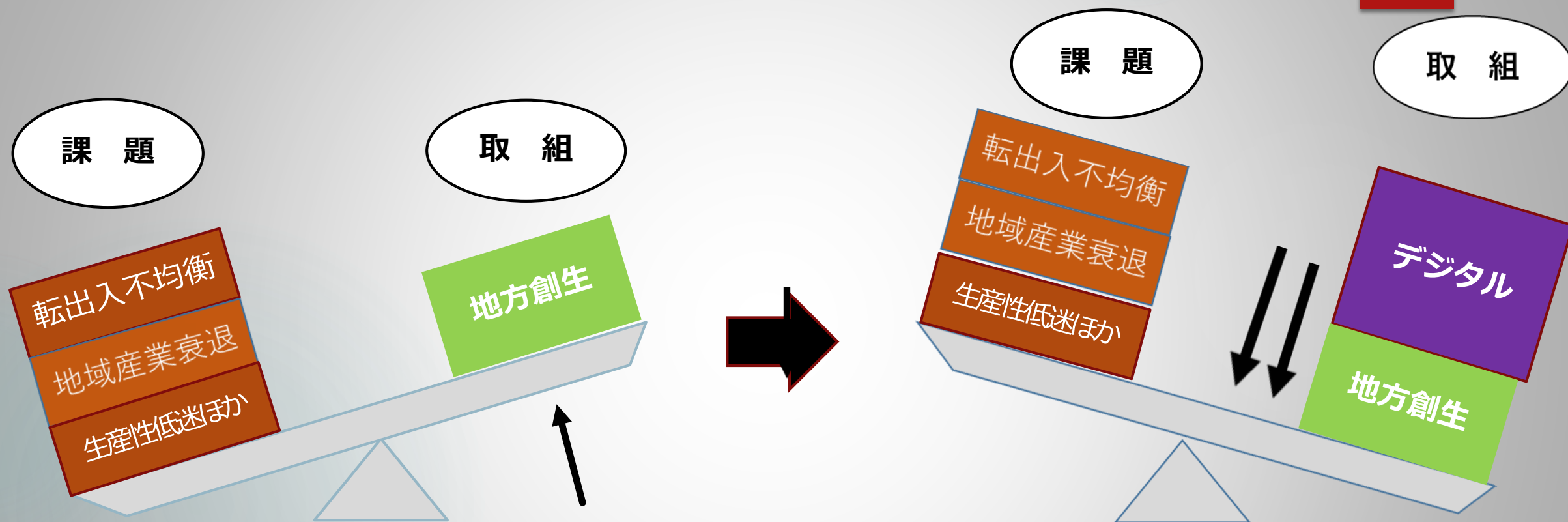
(施策間連携)

- ・ 各省による重点支援や地方支分部局の活用等による伴走型支援等を通じて、地域が目指す将来像の実現を支援 等

(地域間連携)

- ・ 自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用の取組を促進 等

デジタル田園都市国家構想総合戦略によって...

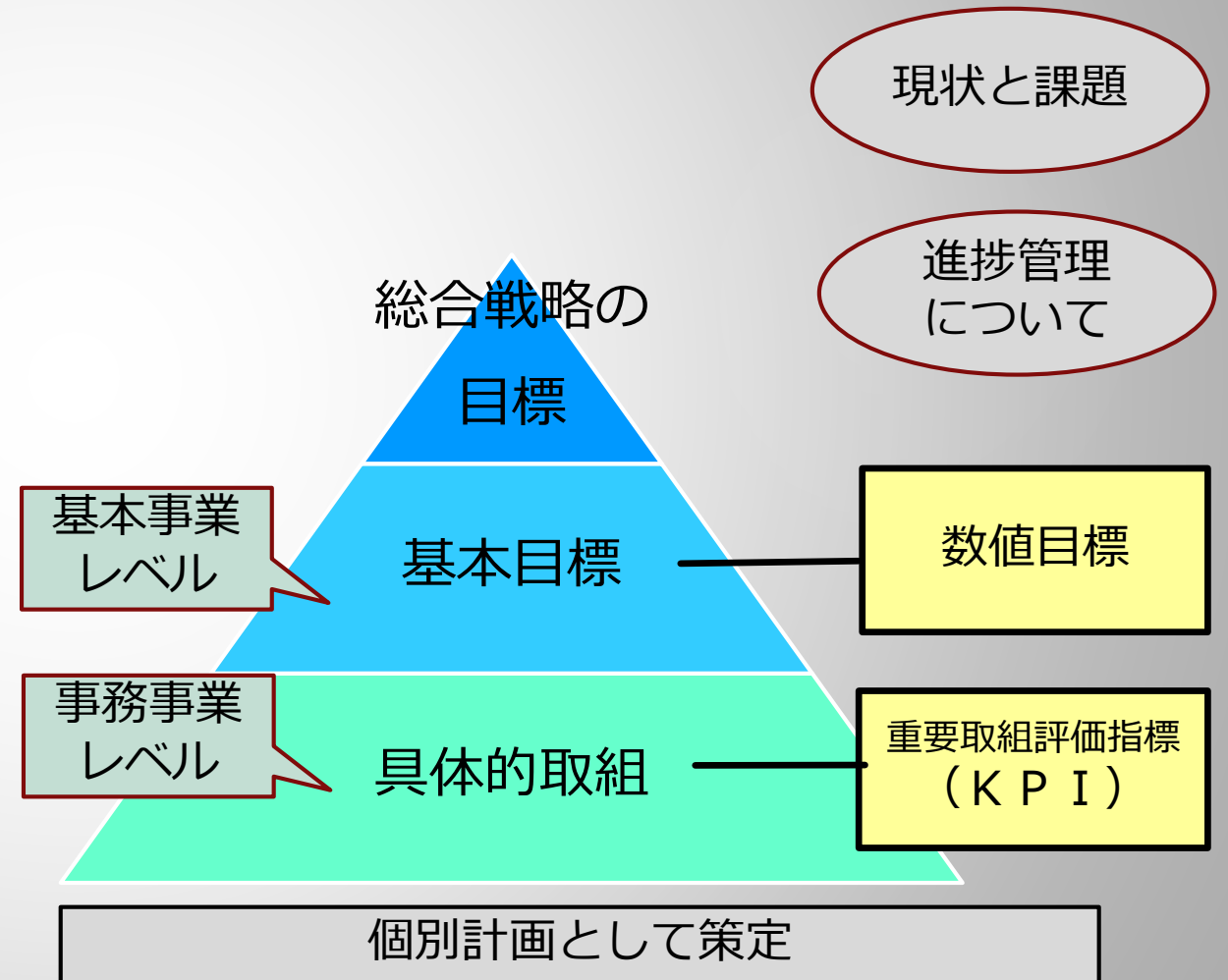


デジタルの力で地方創生の取組が加速化・深化！

立川市総合戦略の現状

- ▶ 立川市でも今後人口減少・少子高齢化、生産年齢人口の減少が見込まれている。
- ▶ 地方版総合戦略の策定が求められている。
- ▶ K P I（重要取組評価指標）の設定とP D C Aサイクルによる進捗管理が必要。
- ▶ 具体的な施策とその目標を明確に。
- ▶ デジタル技術による市民サービス向上が課題。

次期立川市総合戦略の構成案



立川市総合戦略スケジュール

・推進委員会議題

- 第1回 立川市の人口動向、現総合戦略・SDGsの進捗
- 第2回 次期総合戦略の基本目標、関連施策と数値目標
- 第3回 次期総合戦略の具体的取組とK P I
- 第4回 次期総合戦略案
- 第5回 現総合戦略及びSDGsの令和5年度進捗報告

3月
原案議会報告・策定

12月
素案議会報告

7月
第2回庁内推進本部
第4回推進委員会

令和7年1月
パブリックコメント

8月
第5回推進委員会

5月
第3回推進委員会

3月25日
第2回推進委員会

令和6年2月5日
第1回庁内推進本部

2月7日
第1回推進委員会